

パブリックコメントの中間報告について

令和5年9月15日～10月16日の期間で実施しているパブリックコメントについて、9月27日時点での状況を取りまとめ（6件）、下記のとおり報告します。

記

1. 城陽市水道事業ビジョン（中間見直し版）案について

○耐震・浸水対策について

- ・管路の耐震化や浄水場の浸水対策は必要なことであり、計画的に進めてもらいたい。

○安定水源の確保について

- ・府営水道受水点を追加した場合、危機管理面で何か充実するのですか。府営水道受水点の追加によるデメリットを知りたい。
- ・別系統の水源を確保する事は危機管理上有効だと理解するが、安定性においても、危機管理的にも、コストを考えた場合でも府営水よりも地下水を優先する方が良い。
- ・遠くからの水より、災害に強い近所にある井戸の方がずっと有用ではないか。

○業務委託の検討及び広域化の必要性について

- ・「検討を進めます」だけで具体的な方向性が示されていないが、慎重な検討を求める。

2. その他意見

○料金改定について

- ・城陽市の開発構想に沿った東部丘陵地開発等に係る経費を市民の水道料金から負担を強いる水道料金値上げは反対。
- ・物価が高騰する中で、水道料金も値上げする必要があることは理解できるが生活が厳しいので値上はなるべくおさえてもらいたい。

○地下水保全・自己水割合等について

- ・城陽の水道の8割以上を占めている地下水について、もっと書き込んでいただきたい。
- ・京都府が水道事業を広域化する計画に伴い、城陽でも府営水に一本化するという話を聞いた。何故おいしい井戸水を止めて川の水を飲まなければならないのか。
- ・開発が進むことによる地下水の保全に関して危惧している。地下水保全の協議会の設立を求める。
- ・今後も地下水を利用した安全で美味しい城陽の水を守ってもらいたい。